

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
農事組合法人 豊北うるおいファーム	従業員 15人	北海道北見市	複数戸法人の設立による経営改善と合理化	専門家派遣回数 1回

## 相談内容・現状課題

### ■相談内容

地域の主要産業である農業の担い手が中長期的に減少することが見込まれており、優良農地を維持していくことが課題となっている。

今後も営農を継続する農業者で協力して複数戸法人を設立し、経営改善と合理化を進めて持続可能な営農を目指していきたい。



大規模専業農家が点在する北海道東部のオホーツク地域

### ■現状課題等

- ① 少子高齢化による担い手の減少
- ② 個別経営による経営面積の限界

## 相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

### ■支援内容

地域の担い手が主体的に持続可能な営農を行う意思があり、また、JAが仲介役を務めていたことから、農業会議、普及センター等の地域関係者が連携して法人化の取組を進めることとした。

法人設立に当たっては、構成員となる農業者が経営方法や農作業手順など個々の経営で培った経験値があることから、伴走支援チームが法人化の手順や運営のノウハウを助言し、農業法人に参加する構成員の理解を得るよう努めた。

なお、専門家から、複数戸法人の設立によって、  
 ① 現在、専業農業者が支払う個人所得税と法人化した場合の給与所得者の所得税及び法人税などを比較した結果、複数戸法人の方が税負担が軽減されること。  
 ② 個人で事業継承を行った場合、相続税の負担が大きくなるが、新たに法人を設立し、現物出資の形を採ることで、税負担が軽減されることを説明したことで、構成員となる農業者の賛同が得られ、法人化の機運を大きく高めることができた。

#### <提案内容>

- ① 法人化の進め方の紹介
- ② 法人運営ノウハウの整備
- ③ 法人設立に係る費用の支援



法人設立のための勉強会を開催

## 支援の成果・その後の状況

### ■支援の成果・その後の状況

地区の担い手3戸が出資者となり令和元年6月に法人設立。法人設立に伴い、2名の雇用就農者を確保し約158haの農地に小麦等を作付して、初年度の営農を開始した。

法人設立に当たっては、支援チームによる以下の提案を活用することとなった。

- ① 法人化された先進地視察や税務、社会保険に関する勉強会の実施
- ② 構成員間の農作業の平準化や円滑な運営を進めるための法人内の諸規定の整備
- ③ 農業経営法人化支援事業を登記等の法人設立に関する経費に活用

今後は更なる経営の安定化に向け、必要な経営改善の取組を進めていく所存。

### ■コーディネーター所感

個人の利益だけではなく、地域の将来を考えた代表者のリーダーシップが発揮され、法人設立に至ることができた。

今後は、計画的な土地改良や必要な農業機械の導入を進めながら、雇用就農者の定着、利益向上のための取組等が行われることを期待する。